

平成30年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】新課題講習2

※この講習を受講する方はハ-206を受講することができません。

クラスCD	ハ-229	開講日	8月27日(月)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	30名

講習科目名	心を育てるグループワーク	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	正保 春彦 (しょうぼ はるひこ)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>教室内での児童・生徒間の人間関係を形成し、人間理解や自己表現力の発展を促す技法について演習と講義を行います。構成的グループ・エンカウンター(SGE)とインプロ(即興)を軸に、「かかわる」「理解する」「表現する」という新たな活動の枠組みを提案します。主要なエクササイズを10数件体験しながら、まずは受講生自身が楽しむことから出発し、その上で活動の背景にある理論や実施上の注意点等について具体的な解説によって理解することで、総合的な実践力を身につけます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な技法を自ら体験し、エクササイズが児童・生徒に与える影響を理解する。</li> <li>・各技法毎の理論的背景や心理的効果の違いを理解し、効果的な実践計画を立案できる。</li> </ul>		
受講者への事前連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽い身体活動を含みます。動きやすい服装でご参加下さい。スカートやハイヒール等は不可とします。</li> </ul>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習17

※この講習を受講する方はハ-112、ハ-218を受講することができません。

クラスCD	ハ-230	開講日	8月27日(月)
対象職種	教諭	定員	50名

講習科目名	幼児教育の現状と課題	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	神永 直美 (かみなが なおみ)	所属	教育学部
主な受講対象者	幼稚園教諭	担当時間	6時間
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幼稚園教育要領の基本的な方向性について、社会情勢の変化(子ども・子育て支援制度施行、幼児教育の重要性への認識の高まり、保護者支援の重要性、保幼小連携の必要性、茨城県の取組み)を踏まえ概説する。</li> <li>・今後の幼児教育のあり方について、特に保幼小連携について検討する。</li> </ul>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 幼児教育をめぐる社会情勢の変化を理解する。</li> <li>(2) 今後の幼児教育の方向性について理解する。</li> </ul>		
受講者への 事前連絡事項	幼稚園教育要領(平成29年)を持参してください(インターネットでダウンロードもできます)。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習21

クラスCD	ハ-231	開講日	8月27日(月)
対象職種	教諭	定員	60名

講習科目名	インクルーシブ教育の理念と動向	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	荒川 智 (あらかわ さとし)	所属	教育学部
主な受講対象者	特別支援学校教諭	担当時間	6時間
講習内容	<p>1) インクルーシブ教育の基本的な理念と動向について解説する。                  2) 障害者権利条約の教育条項と文科省のインクルーシブ教育システムについて検討する。                  3) インクルーシブな学級・学校づくり・地域づくりに向けた先駆的な実践について紹介する。                  4) インクルーシブ教育の観点から現行特別支援教育の制度・政策を検討する。                  5) 認定のための小論: 講義の内容と自分の考えをまとめる。</p>		
到達目標	<p>1) インクルーシブ教育の基本的な考え方について理解し、周囲にわかりやすく説明できる。                  2) インクルーシブ教育の構築に向けて、どのような実践ができるか考える。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>適宜プリントを配布。参考図書: 荒川智・越野和之『インクルーシブ教育の本質を探る』全国障害者問題研究会出版部(試験持ち込み可)</p>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(英語コース)3

クラスCD	ニ-226	開講日	8月27日(月)
対象職種	教諭	定員	30名

講習科目名AM	英単語の法則性を探る	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	安原 正貴 (やすはら まさき)	所属	教育学部
主な受講対象者	中・高教諭(英語)	担当時間	3時間
講習内容	スピーキング、ライティング、リスニング、リーディングいずれの技能も英単語の知識が必要不可欠であり、英単語を覚えることは英語力を総合的に向上させる上で重要であると言える。膨大な数の英単語が存在するが、英単語の意味や発音、形にはある一定の法則性が存在する。本講習では、英単語の法則性について学んでいく。		
到達目標	英単語の意味、形、発音に関する様々な法則を観察し、英単語の理解を深めることを目的とする。		
受講者への 事前連絡事項	教材は当日配布します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名PM	Developing communication exercises	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	Joseph Drakos (ドラコス ジョセフ)	所属	非常勤講師
主な受講対象者	中・高教諭(英語)	担当時間	3時間
講習内容	First hour: How to develop communication exercises Second hour: Development workshop Third hour: Essay test		
到達目標	The purpose of this class is to provide ideas to teachers for creating student centered speaking activities.		
受講者への 事前連絡事項	特にありません		
成績評価の方法	筆記試験(Essay test)	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 Dictionaries allowed, Use your best English

【選択】新展開講習(理科・農業コース)1

クラスCD	ニ-227	開講日	8月27日(月)
対象職種	教諭	定員	30名

講習科目名	量子論入門	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	永尾 敬一 (ながお けいいち)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(理科)	担当時間	6時間
講習内容	現代物理学の根幹をなしている量子論について、その基本的な性質をできるだけ数式を用いずに概観します。具体的には、まず、古典物理学の困難から量子論が誕生した経緯を説明します。そして、粒子と波動の二重性などの量子論特有の性質や不可思議性について考察します。また、現代社会で活用されている量子論の応用技術や、宇宙(時空・物質・力)の起源の解明を目指した学問分野である素粒子論も紹介します。なお、筆記試験は、数式を使わずに解答可能なごく簡単な問いに限定して出題します。		
到達目標	古典物理学と量子論の違いを理解して、量子論特有の性質や不可思議性を考察できる。現代社会において、量子論がどのように応用・研究されているかを説明できる。量子論に関連する内容を児童・生徒に質問された際に、適切に回答・説明できる。		
受講者への 事前連絡事項	資料は配布します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みは <b>不可</b> とする。

【選択】新展開講習(音楽コース)4

クラスCD	ニ-228	開講日	8月27日(月)
対象職種	教諭	定員	30名

講習科目名AM	発声法と歌唱	講習の形態	講義と演習
担当講師名(ふりがな)	谷川 佳幸 (たにがわ よしゆき)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(音楽)	担当時間	3時間
講習内容	<p>歌唱のための色々な発声法について検証し、取り組む楽曲にふさわしい発声法を考える。          また日本語、英語、ドイツ語、イタリア語の歌を比較することで、西洋音楽の中にあるアクセントとはなにかを探り、西洋音楽の基礎について理解する。          楽語は訳ではなく原語のニュアンスを知り、訳された言葉から受ける雰囲気との違いを感じ取って、誤解をなくすことを目指す。          訳語の歌を歌う場合の注意点や、外国語の歌を学ばなければならない意味を理解し、日本語で美しく歌うための技術について考える。</p>		
到達目標	<p>西洋音楽の中で発達してきた歌唱法に焦点を当て、その理由と方法を理解する。楽曲に適した発声用を使って、日本語の歌を表現することを目指します。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>特に準備は必要としないが、講習中積極的に歌うことが必要です。楽譜は全てこちらで用意します。</p>		
成績評価の方法	実技考査	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名PM	音楽科における言語活動の充実	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	神部 智 (かんべ さとる)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(音楽)	担当時間	3時間
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽科の鑑賞活動を中心に、授業における言語活動の方法や問題点について考察する。</li> <li>・学習指導要領における鑑賞活動のポイントを整理し、授業の進め方や評価の仕方について論じる。</li> </ul>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽科における言語活動の意味を理解し、知見を広げることができる。</li> <li>・学習指導要領における鑑賞活動の教育的意義を理解し、具体的な学習指導方法を立案できる。</li> </ul>		
受講者への 事前連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の内容を確認しておいてください。</li> <li>・テキストについては購入の必要ありません。</li> </ul>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(図工・美術・工芸コース)3

クラスCD	ニ-229	開講日	8月27日(月)
対象職種	教諭	定員	30名

講習科目名AM	デザインの新展開	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	島田 裕之 (しまだ ひろゆき)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(図工・美術・工芸)	担当時間	3時間
講習内容	<p>現代のデザインとコンピュータグラフィックスの関連を解説する</p> <p>1) コンピュータグラフィックスの領域と制作方法について概説する</p> <p>2) コンピュータグラフィックスの発達をその発生から現代まで概説する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータグラフィックスの発生期についての解説</li> <li>・コンピュータグラフィックスの発達期についての解説</li> </ul> <p>3) 現代のデザイン展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインと映像との関連</li> <li>・映像とコンピュータグラフィックスの展開</li> </ul>		
到達目標	<p>1) コンピュータグラフィックスの領域と表現法について理解する</p> <p>2) コンピュータグラフィックスの表現特性を理解する</p> <p>3) 映像とコンピュータグラフィックスの現代的展開について理解する</p>		
受講者への事前連絡事項	<p>本講義に於いては実際にコンピュータを使用することはない。(講義授業のため)</p> <p>上記の講習内容は映像資料の鑑賞とともに実施する。</p>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名PM	絵画の新展開	講習の形態	講義・実技
担当講師名(ふりがな)	片口 直樹 (かたぐち なおき)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(図工・美術・工芸)	担当時間	3時間
講習内容	<p>1) 前半は、絵画表現から着想した共同による創造活動の実践をいくつか紹介する。</p> <p>2) 実践例を基に、発想や構想、技能に関する資質・能力の育成について検討する。</p> <p>3) 後半は、前半の講義の内容を踏まえた絵画制作の課題に取り組む。</p> <p>4) 課題作品の合評会を実施し、学校教育への展開について模索する。</p>		
到達目標	<p>1) 教育の題材について、新たなアイデアや発想をもつことができる。</p> <p>2) 美術教育と絵画の専門性の関連について考察することができる。</p>		
受講者への事前連絡事項	<p>講義内容は配布資料とプロジェクターを使用して実施します。</p> <p>実技内容における作品は、講習内で提出するものとします。</p> <p>画材として使用する「色鉛筆セット(任意)」をご持参ください。</p>		
成績評価の方法	実技考査(制作作品を基に評価します)	認定試験に関して	実技考査(制作作品を基に評価します)

【選択】新展開講習(技術・工業・情報コース)2

クラスCD	ニ-230	開講日	8月27日(月)
対象職種	教諭	定員	30名

講習科目名AM	技術科・工業科・情報科の指導と評価	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	工藤 雄司 (くどう ゆうじ)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	担当時間	1.5時間
講習内容	<p>工業科と技術分野、情報科と技術分野及び小学校プログラミング教育との関係性、指導と評価のあり方について、以下の内容を概説する。</p> <p>1)各校種(小・中・高)で育成を目指す資質・能力と指導内容の関係について</p> <p>2)各校種(各内容)で必要となる見方・考え方</p> <p>3)各内容の構成と求められる問題解決的な学習指導と評価</p> <p>○中学校技術科と高等学校工業科・情報科の内容との関連を中心に実施する。</p> <p>○認定試験:講習内容を確認する。</p>		
到達目標	1)~3)の内容について理解し説明することができる。		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配付します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名PM	エネルギー変換の技術(機械)	講習の形態	講義・実習
担当講師名(ふりがな)	堤 一郎 (つつみ いちろう)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	担当時間	1.5時間
講習内容	<p>「技術科・工業科・情報科の指導と評価」の内容を踏まえ、<u>機械を中心に</u>以下の内容を概説するとともに実習を行う。</p> <p>1)運動・熱の特性等の原理・法則</p> <p>2)エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な機械の仕組み、保守点検</p> <p>3)リンク機構の製作</p> <p>○中学校技術科と高等学校工業科・情報科の内容との関連を中心に実施する。</p> <p>○認定試験:講習内容を確認する。</p>		
到達目標	1), 2)の内容について理解し、製作品を完成できる。		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配付します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(技術・工業・情報コース)2

クラスCD	ニ-230	開講日	8月27日(月)
対象職種	教諭	定員	30名

講習科目名PM	エネルギー変換の技術(電気)	講習の形態	講義・実習
担当講師名(ふりがな)	榎 守 (さかき まもる)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	担当時間	1.5時間
講習内容	<p>「技術科・工業科・情報科の指導と評価」の内容を踏まえ、<u>電子・電気を中心に以下の内容を概説するとともに実習を行う。</u></p> <p>1) 電気の特性等の原理・法則                  2) エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な電気の仕組みと保守点検                  3) 二極直流モーターの製作                  ○<u>中学校技術科と高等学校工業科・情報科の内容との関連を中心に実施する。</u>                  ○認定試験:講習内容を確認する。</p>		
到達目標	1), 2)の内容について理解し、製作品を完成できる。		
受講者への 事前連絡事項	適宜プリントを配付します。		
成績評価の方法	実技考査(製作品を基に評価します)	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名AM	情報の技術	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	工藤 雄司 (くどう ゆうじ)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	担当時間	1.5時間
講習内容	<p>「技術科・工業科・情報科の指導と評価」の内容を踏まえ、以下の内容を概説するとともに実習を行う。</p> <p>1) 情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則                  2) 情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性                  3) 双方向及び機器の制御プログラム制作                  ○<u>中学校技術科と高等学校工業科・情報科の内容との関連を中心に実施する。</u>                  ○認定試験:講習内容を確認する。</p>		
到達目標	1), 2)の内容について理解し、プログラムを完成できる。		
受講者への 事前連絡事項	適宜プリントを配付します。課題などを持ち帰りたい方はUSBメモリをお持ちください。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(家庭コース)3

クラスCD	ニ-231	開講日	8月27日(月)
対象職種	教諭	定員	30名

講習科目名	サステナブル時代の住まいを考える	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	乾 康代 (いぬい やすよ)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(家庭)	担当時間	6時間
講習内容	家庭科の教科指導, 生徒指導, 教育内容の充実を目指すこの講習は, ①住まいは人権, 日本の住宅をめぐる諸問題, ②住まいの省エネと室内環境, ③住まいの住み方と計画, ④住まいの安全(簡単な住宅模型の製作と実験)を受講する。		
到達目標	安全で健康的であるとともに, 地球環境に配慮した住まいの重要性に関する理解を深め, 授業の組み立てと展開, さらには学校の環境管理や防災に役立てることができる。		
受講者への 事前連絡事項	住宅模型製作のために, カッター, ハサミ, 定規(できれば金属製がよい), カッティングマット(または古紙, 古新聞), 両面テープ, ゼムクリップ6個, ゴミ袋(小さなレジ袋など)		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(養護教諭コース)2

クラスCD	二-232	開講日	8月27日(月)
対象職種	養護教諭	定員	40名

講習科目名AM	健康相談の理論及び方法	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	斉藤 ふくみ (さいとう ふくみ)	所属	教育学部
主な受講対象者	養護教諭	担当時間	3時間
講習内容	<p>・1960年代～の文献から、保健室で対応する子どもの健康問題の変化を捉えながら、養護教諭が心の対応をどのように行ってきたのか確認する。その上で保健体育審議会答申、中央教育審議会答申、学校保健安全法の改正の動きの中で健康相談をめぐってどのような変遷があったのか確認する。さらに健康相談の支援のあり方と技術について具体例を示しながら確認する。</p> <p>・演習では、困っている事例についてショートワークシートの作成を行い、事例検討を実施する。その後振り返りと参加者との交流を図る。また健康相談に関する実践研究の手法も紹介する。</p>		
到達目標	<p>・本講座は、日々変化・変容している子どもの心身の健康実態と健康課題に対して適確な判断をし、養護教諭が中心となって、組織的に解決に向かって、健康相談の対応・支援を実践できる力量を、理論提供と演習(方法の体験・共有)により高めることを目標とする。</p>		
受講者への事前連絡事項	日頃、対応に困っている事例がありましたら要点をメモしてきてください。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名PM	再生医療を考える	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	石原 研治 (いしはら けんじ)	所属	教育学部
主な受講対象者	養護教諭	担当時間	3時間
講習内容	<p>前半では、再生医療の歴史と現状を論じる。 後半では、医療の一つとして現実味を帯びてきた再生医療の諸問題について解説しながら、社会の枠組みとしてどのように捉え社会化させるか演習を行う。</p>		
到達目標	<p>再生医療とゲノム編集の現状をおおまかに理解できる。 私たちのこれからの医療としてどのような社会を目指すべきか創造できる。</p>		
受講者への事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。